

「当たり前」のことが「当たり前」にできる子を育てる第三小学校の教育

学校だより

No.4

青梅市立第三小学校
校長 八木 慎一

令和5年6月30日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

自分を好きになること

副校長 森田 彰

教員は常に教員としての資質能力をアップデートし続ける必要があります、法律で「絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」とされています。

さて、私たちは今年度「自己肯定感」をテーマに研修を行っています。先週は5年生の提案授業がありました。主題に沿って「自己肯定感を育てる」授業はいかにあるべきか、を検討する会です。5年生の道徳の「自分のよさに気付く」授業でした。授業冒頭で「自分にはいいところなんてないなあ」と感じている児童もいたのですが、グループの中で「あなたにはこんな良さがあるよ」と伝えてもらいました。照れもあったのですが、みんな嬉しそうでした。授業の最後には「私にもいいところがある、と気づかされてうれしく思いました。友達のいいところをいつも探したいです」という振り返りがありました。事後の検討会では様々「自分のよさに気付く＝自己肯定感を高める」ためのヒントをそれぞれがつかむことができました。「自分たちの学年でもやってみました」という報告や「〇〇先生を先生役にして、自分たちが生徒役でやってみたいね」という話も出ました。



友達と一緒に学ぶことで自分のよさや価値に気付き、よりよい自分になろうとする心情を育てる授業は、これからの時代に必要な「数値で表すことができない、目に見えない学力」＝「非認知能力」を育てる授業です。自分を大切にし、自分を高めようとする力、周りの人とうまくやっていく力、自分の感情をうまくコントロールする力などの心の力をつけることは、正解が見えないこれからの時代に生きる子供たちに必ずよい効果があります。

大人も子供も、周りからの価値付けで自分のよさを気づかされます。いつも心がけておきたいことです。

【心理相談員の配置について】（青梅市教育委員会からのお知らせ）

いじめ問題に対応するために、7月より教育委員会内に、心理相談員が週2日（月・木曜日）勤務しております。保護者の方も、いじめ問題等の御相談ができます。

御希望の方は、学校を通してお申し込みください。



たくさんの方にお世話になっています

【学校図書館司書】

毎週月曜日と木曜日に図書室で本の整理やレファレンス、授業の中で読み聞かせなどをしていただいています。調べてみたいことや興味があるけど調べ方が分からない時には、伊藤先生に相談してみましよう。

【スクールカウンセラー】

毎週木曜日に勤務しています。保護者も子供も相談ができます。聞いてほしいこと、相談したいことがある時はぜひお話してみましよう。

【ALT】

高学年の外国語の時間に、各学級月 1 回程度授業に入らせていただいています。ゲームやジェスチャーを交えて楽しく外国語を学ぶことを教えてもらっています。

通知表について

今年度の通知表も昨年度と同様です。通知表は毎学期ごとの内容を一枚にまとめてお渡しします。保護者の方の押印・担任への返却の必要はありませんので、受け取った通知表はご家庭で保管してください。

なお、1 学期については個人面談にてお子さんの様子をお話させていただきますので、所見はありません。学習の評価基準につきましては、後日配布の「学年便り夏休み直前号」にてお知らせいたします。ご確認の程、よろしく願いいたします。

4年生の様子

【図工 ～魔除け面～】

初めての張り子に挑戦しています。工作用紙で骨組みをつくり、やわらかく加工した色紙を水ボンドで丁寧にはり付けました。つくっている形は・・・

悲しい事やつらい事から、自分や大事な人を守ってくれるようなお面です。自分の「魔よけ面」はどんな形や色や表情をしているか、一人一人が想像してつくりました。

【理科 ～とじこめた空気と水～】

空気鉄砲の中に、空気や水を閉じ込めて力を加えた時に、体積がどのように変わるのかを実験しました。閉じ込めた空気は押し縮められましたが、水は押し込められず、空気鉄砲から飛び出てしまいました。

「あ！水鉄砲だ！」と、生活経験と結び付けて閉じ込められた空気や水の性質について考えることができました。

音楽科から

〈音楽会に向けて〉

4年生から6年生の音楽を担当しています。保護者の皆様には平素よりご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。青梅三小に赴任して約3か月ですが、この学校は特に校歌をとても元気よく歌う子が多くてびっくりしました。

さて、今年度は11月に音楽会が予定されています。完全に従来の実施方法で、というわけではありませんが、それでもある程度活動の幅が復帰した中で実施できる見通しです。この数年間、音楽の世界もオンラインを活用するなど試行錯誤して活動してきました。しかし、やはり生の演奏を通した感動こそが音楽の醍醐味です。本校の子どもたちにとって音楽会が意義深い、貴重な経験の場となるように準備を進めていきたいと思っております。

生活指導部から

〈水分補給について、ご確認をお願いします。〉

いよいよ本格的に暑くなり、水分補給が一層大切になる季節となりました。そこで、改めて水分補給の約束についてご確認をお願いします。普段の学校生活では、水筒の中身は水もしくはお茶とします。これは、スポーツドリンクを日常的に飲み続けることで、糖分の過剰摂取による肥満や虫歯の危険性が考えられるためです。しかしながら、スポーツドリンクは効率よく水分やミネラルを補給できます。そこで、運動会、遠足、社会科見学等、校外に出たり長時間外に居続けたりする場合についてはスポーツドリンクの持参を可としたいと思います。よろしくをお願いします。

ふじのみ教室から

ふじのみ教室では、「気持ちのコントロール」「コミュニケーション力の向上」等、主に対人スキルや学習に向き合う力を伸ばす指導を行っています。

先日行った「コンセンサスゲーム」では、『ハイキングで食べるグループ毎のおやつを、5つのうちから3つに絞る』というお題で話し合いをしました。このような経験を重ね、子供たちが意見を伝える力、譲り合う力等を伸ばしていけることをねらっています。

通室している子供たちは、ふじのみで伸び伸びと活動し、その力を学級で発揮しようとはがんばっています。

「僕はポテトチップスがいいと思います。みんなで分けて食べられるからです。」

「グミがいいと思います。〇〇さんと似た意見で、フルーツのいろいろな味があるから、みんなが好きな味を楽しめるからです。」

体育部から

<東京都統一体力テストがありました>

本校では、5月26日より6月9日を「体力テスト週間」とし、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20Mシャトルラン、50M走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの8種目の計測を実施しました。

「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、東京都の平均値と青梅市の平均値を比べると、「反復横跳び」、「20Mシャトルラン」の項目においてより大きく下回っていることがわかりました。体を素早く動かす経験や、続けて体を動かす経験の減少が原因と考えられます。

三小でも、コロナ禍で休み時間に遊ぶことが制限されていたことを受け、外で遊ぶのではなく、家でゲームをしたり動画を見たりして時間を過ごすという子が増えてきています。鬼ごっこなどの遊びを通して、子供たちと一緒に元気に走り回り、素早さや持続的な体力を養っていきたいと思います。

<水泳学習が始まりました>

6月12日より水泳学習が始まりました。コロナ禍で水泳授業も制限されたり、市内のプールで泳ぐ機会も減少したりしていました。そのため、水泳学習に抵抗感をもつ児童がいる、泳力が以前よりも低いという現状があります。今年度より制限がなくなりましたが、子供たちの現状を踏まえ、安全第一に、子供たちに合った楽しい水泳学習を進めていきます。

お知らせ

7月21日（金）から26日（月）に、5、6年生を対象として「ドルフィンスクール」を開催します。小学校の水泳指導の目標は「泳法を問わず25Mを泳ぐことができる」と指導要領に定められています。浮き方から始めて、呼吸をしながら25Mを泳ぎ切る指導をします。達成感を味わわせるとともに、自己効力感も育てます。是非奮ってご参加ください。